

標化する事、④積雪、暴風等集落が孤立した場合等に対処するための救急医療のシステムについても報告した。(第3、第4図)

第4図 僻地健康管理システムの流れ



今回は、コンピューター処理により、健康データの各項目の資料を呈示するシステムの試作を行なってみたので報告する。

II 実施内容

第5図は入力形式を示したものであり、地域、人名、健康情報などをコード化し、いくつかのファイルに整備したものである。更に健康管理

第5図 入力形式

質問

FILE Aより G0Y-15人を選択し
G0Y-1の健康データを出力せよ

FILE コード	人名コード	健康情報コード
LR-A	G0Y-1	KENK0

計算機への対話方式

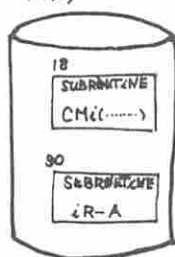
- 例
- | | | |
|----------|--------|------------------|
| 1. LR-A. | G0Y-1. | KENK0. |
| 2. LR-A. | G0Y-1. | CM2. |
| 3. LR-A. | G0Y-1. | PFT. |
| 4. LR-A. | G0Y-1. | TA:RYOKU |
| 5. LR-B. | G0Y-1. | KETHUATHU NIGHT. |
| 6. END | | |

第6図

プログラムのインデックス

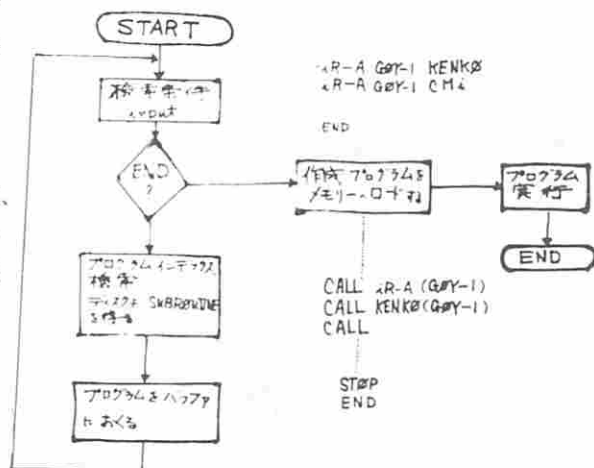
プログラムコード	巻数
CM2	18
LR-A	90
LR-B	150
KENK0	200
PFT	600

ディスク



システムにおいては、条件に従って出力形式が異なってくる。そのため一般の情報検索手法のみを用いることは適当でない。そのため質問条件に従って、計算機にヒューリスティックな能力を要求する必要がある。つまり計算機にプログラムを形成するプログラムを付加するわけである。第6図はそれを示したものであり、プログラム、インデックスを作り、サブルーチンとして、あらかじめ準備された状態を示している。第7図は全体のフロー・チャートである。

第7図

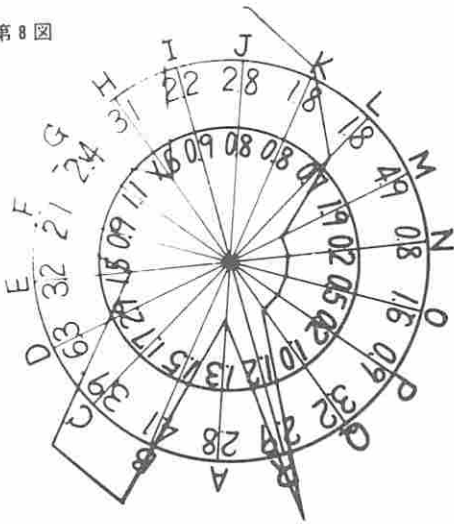


これによって健康指標、C.M.I.(第8図)は第9図の如くなる。

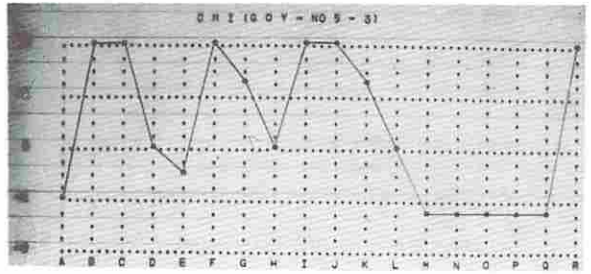
又、健康指標、体力(第10図)は、第11図の如くなる。

更に健康指標、健康度(Total Display)第12図は第13図の如くなる。

第8图



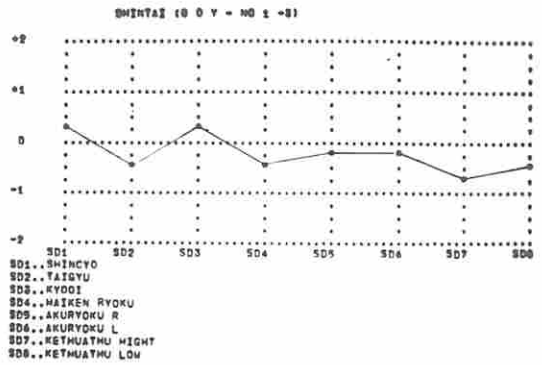
第9图



第10图



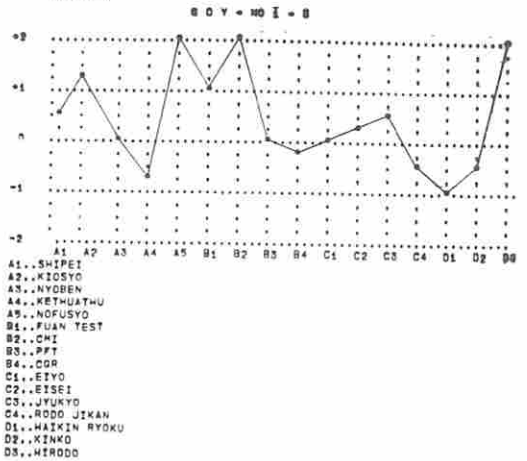
第11图



第12图



第13图



第14図

ヒューリスティックな方法によるプログラムの
ディテールフロー

FILE A と FILE B はディスク上に作成した
ランダムファイルである。

FILE A ... 健康管理カード作成した
最初のファイル

FILE B ... FILE A を計算したファイル

例 JRA GOY-1 KENKØ



第14図は、ヒューリスティックな方法によるプログラム
のディテール、フローである。

FILE-A、及びFILE-Bはディスク上に作られたランダム、
ファイルである。

以上の呈示は、一時期における健康情報の横断的な呈示
であるが、健康管理の場合、データの縦断的な呈示が要求
されてくる。例えば血圧が如何なる変動を示すかは、管
理上重要な事である。第15図は過去から現在に至る血
圧の変動を示したものであり、管理限界を含めて呈示し
たものである。

III おわりに

過疎化がすすむにつれ、無医地区が増加し、その対策は、
益々深刻さを加えている。私共は、健康管理のシステム化
を通じて、無医地区の健康に対する不安を解消し、保健
意識の向上と救急時の対策について報告してきたが、今
回は、種々の健康指標をコンピューターによって呈示す
る事を実施してみたので報告した。

第15図

